

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) カナガワダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) ユキモトゼミナール
神奈川大学	経営学部	行本ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) キャリアチーム	フリガナ) イワモトカナミ	4	無	無
キャリアチーム	岩本夏波			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

なし

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

JINFORMATION ~神奈川大学経営学部生のキャリア向上に向けて~

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

本研究は、神奈川大学経営学部の学生にキャリアデザインについて考えてもらうことを目的としている。

現在の日本は、働き方改革、ワークライフバランスの推進、グローバル化や IT 革命などによる情報の多様化により、選択肢が増加している。激変する社会環境の中で学生自身がキャリアデザインの重要性を認識し、行動することが求められている。

そこで、私たちは神奈川大学経営学部の学生を対象としてキャリアデザインに向けた独自のアプローチを行い、学生自身が将来について深く考え、目標に向けた行動をしてもらいたいと考え、研究を進めてきた。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

1960 年代以降の日本社会は高度経済成長期と呼ばれ、年功序列、終身雇用などにおける日本的経営が主流であった。しかし、現在の日本社会はグローバル化による選択肢の幅が広がり、IT 革命により情報を容易に手に入れることで、学生は自身の将来を考えることが以前より難しくなっている。そして、働き方改革により今後も働き方が見つめ直されていくと考えられる。この現在の

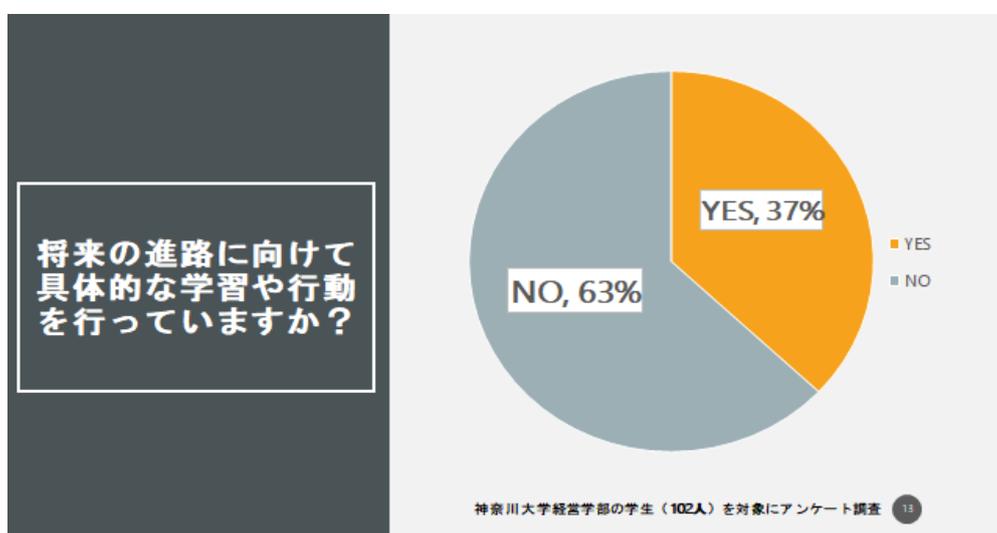
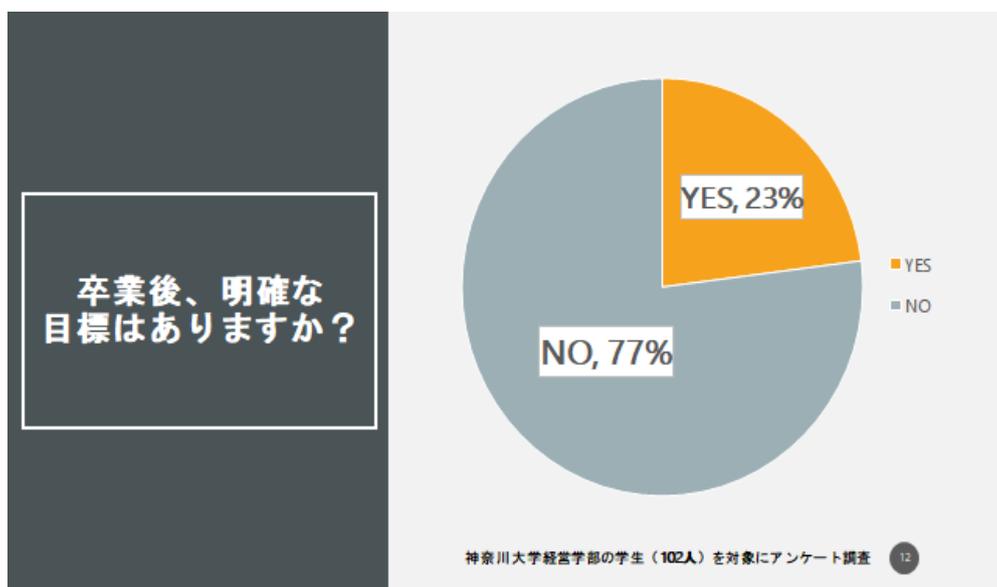
目まぐるしく変化する社会を生き抜いていくためには、キャリアについて自ら考え行動していくキャリアデザインを構築することが必要である。このように学生のキャリアデザインの重要性が問われている中で、私たちは神奈川大学経営学部の学生がキャリアデザインを行っているか疑問に思い、研究をスタートさせた。

3. 研究テーマの課題

本研究テーマの課題は、神奈川大学の学生の多くが「キャリアデザインを行えていない」ことである。私たちは 102 人の神奈川大学経営学部の学生にアンケート調査を実施したところ、77%の学生が卒業後明確な目標を持っていないと答えた。また、63%の学生が将来に向けた具体的な取り組みを行っていないと答えた。このことから私たちは学生自身が将来について深く考え、目標に向けた行動を起こしていないことがわかった。また、神奈川大学就職課や神奈川大学の教員にインタビューを行った結果、アンケートと同じく目標を持って行動に移している学生が少ないという回答を得て、課題が明確となった。

私たちは学生にキャリアデザインを行ってもらうために、私たちが主体となり「キャリアラウンジ」というイベントを開催した。参加人数は学生 8 名であった。目的は、キャリアデザインを行えていない学生が「キャリアラウンジ」で自己分析や目標設定を行い、キャリアデザインを構築することである。しかし、実際に開催してみた結果、「キャリアデザインの必要性は感じた」が、「まずキャリアについてよくわからない」、「キャリアデザインを難しいと感じた」ということが参加者の声からわかった。

そこで、私たちは学生が自身の将来について深く考え、目標に向けた行動をしてもらうためには、キャリアデザインを構築するきっかけとなるものが必要であると考えた。



4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

上記の課題を解決するために私たちが提案するのは、神奈川大学経営学部生のキャリア意識向上に向けた情報誌「JINFORMATION」を制作することである。

この情報誌は紙媒体で発信する。ネット社会が進行する現代においてあえて紙媒体を採用することで、主に情報がオーバーロードになりにくいと言う点が挙げられる。他にもこの「JINFORMATION」の特徴として、2つの点が挙げられる。1つ目は神奈川大学経営学部の学生に焦点を当て、情報発信を行うことである。2つ目は周りの学生のキャリア情報を掲載していることである。内容は、①講座②留学③ボランティア④インターンシップ⑤キャリアデザインの仕方⑥教授との対談⑦企業情報の7つのコンテンツを軸に構成し、インタビュー内容等を掲載する。講座、留学、ボランティア、インターンシップに関しては、神奈川大学経営学部の学生で既に行動を起こしている学生を抽出し、インタビューを行った。これらの情報を見た学生には自身の将来について深く考え、目標に向けた行動をしてもらうことが「JINFORMATION」のゴールである。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

まずは、学生に電話でインタビューを行った。講座、ボランティア、インターンでインタビューを受けた神奈川大学経営学部の学生3名と特にインタビューを行っていない学生3名を対象に調査をした。アンケートの結果から、インタビューを受けた学生からは、自身が掲載されていることにより更に雑誌に対して興味を持ってもらえたことが分かった。インタビューを行っていない学生からは、雑誌によってキャリア意識が向上するという回答を得られた。

次に雑誌制作の実現について神奈川大学の学生と関わりのある企業にインタビューを行った。その結果、自分たちがやりたいことを企業に明確にアピールできれば雑誌制作費の援助を検討できる企業もあるという回答をいただいた。企業へのインタビューは今後、複数社行う予定である。

最後に神奈川大学就職課に雑誌に対するインタビューを行った。その結果、大学の情報を雑誌に掲載することは可能、学生に配布する際に就職課に置くことは可能という回答をいただいた。そして、「就職課もできる限り助力していきたい」という前向きな言葉をいただくこともできた。また、神奈川大学以外で学生がキャリア向上の取り組みとして雑誌制作を行っている大学は少ないことから、今までにない新たな取り組みだと言えるという評価をいただいた。

6. 結果や今後の取り組み

今回の提案では、学生に自身の将来について深く考え、目標に向けた行動をしてもらうことで学生自らのキャリア向上につなげた。

今後の取り組みとしては、①JINFORMATION を経営学部全体に普及させる。②雑誌制作に向けて複数の企業の協賛を募る。③JINFORMATION が浸透したらキャリアラウンジを再び開催する、といった3つの活動を行っていきたい。雑誌を経営学部全体に普及させていくためには、まずインタビューを行った学生とその周辺のネットワークを使って雑誌を配布する。そして、その中で出た雑誌の課題を解決しながら来年の春に経営学部全学生に配布できるように努める。また、雑誌制作に必要な費用を集めるために神奈川大学の学生を採用ターゲットにしている企業を中心に、協賛の交渉を行っていく。このJINFORMATION が浸透してキャリアについて理解してもらえるようになった後、「キャリアラウンジ」をもう1度実施していこうと考えている。

7. 参考文献

- ・大学生のためのキャリアデザイン（人生設計）とキャリア・カウンセリングの社会的意義 https://fukuyama-u.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=8871&file_id=22&file_no=1
- ・大学生のためのキャリア教育の社会的意義 https://fukuyama-u.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=8643&file_id=22&file_no=2
- ・「キャリア形成を支援する労働市場政策研究会」報告書について <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/07/h0731-3.html>
- ・大学生のキャリア意識とロールモデルの関係 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsyapp/25/0/25_52/_pdf/-char/ja

・「キャリアデザイン」とは？その重要性和デザイン方法をご紹介 |

<https://bizhint.jp/keyword/71265>

・キャリアデザイン学部とは - 法政大学

www.hosei.ac.jp/careerdesign/shokai/gakubu.html -

・「働き方改革」の実現に向けて | 厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322.html>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください